

『スタート』を利用した展開例

スタート 生徒用「進路のためのアドバイスシート」を授業で活用する

1. ねらい

- ① 自分への理解を深めることで新たな高校生活を展望できる。
- ② 自分の個性に適した進路を考え、進路に適した対応を考えられる。
- ③ 自分の個性を理解して、新たな仲間との関わりを考えられる。
- ④ 結果から得られる客観的情報を用いて、漠然とした自己理解を整理できる。

2. 使用資料

- ① 生徒用「進路のためのアドバイスシート」
- ② ワークシート（自分らしいスタートの結果）：コピーしてお使いください。

3. 事前の準備

- 1 グループ 7～8 人での作業となるので、あらかじめ机などをセットしておく。

	時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
導入	10分	<p>●高校生活を始めるにあたり、スタートから見た客観的な自己理解をもとに、将来の展望を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>高校生活を始めるにあたって、将来のことを考えてみようと思います。先日実施した「スタート」の結果を用いて、自分らしさとは何かを考えていきます。なんとなく思っている自分らしさと、「進路のためのアドバイスシート」のコメントに書かれている自分とを比較してみます。「進路のためのアドバイスシート」を一人ひとりに返却しますので、ゆっくりと読んでみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく思っていた自分と矛盾しないコメントもあるが、ギャップのあるコメントもいくつかある。戸惑いと受け入れとの葛藤状況におかれることで、自分自身の曖昧さに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「進路のためのアドバイスシート」には個人情報に記載されているので、個別に配布する。生徒どうしが自主的に見せ合うことは特に問題ではないが、教師からは開示するような指示はしない。 ○「進路のためのアドバイスシート」の見方を理解させる。シートの右側の「スタートを受けたあなたへ」を用いると理解しやすい。 ○上半分の「あなたの進路について」と下半分の「あなたの生活について」を順番に読み取らせ、時間の余裕をとり、質問を受けるなどして、それぞれの生徒の理解度に応じた対応を心がける。 ◆スタートの結果を、自分自身の客観的評価として理解し、受け入れることができたか。
展開	30分	<p>●ワークシート（自分らしいスタートの結果）を使って自分のイメージを表現することで、「進路のためのアドバイスシート」の項目に沿って漠然としている自分らしさを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで手がかりのなかった自分らしさのイメージを、ある程度抽象化して考えることができるようになる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>最初の作業です。これからワークシート（自分らしいスタートの結果）を配ります。今日の日付、学年・組・出席番号と氏名を記入してから始めてください。このワークシートは何も記入されていない、スタートの白紙の「アドバイスシート」です。これを使って、こんな結果が書いてあったらいいなと思う、自分らしい夢の「アドバイスシート」をつくってください。では、最初に本物の「アドバイスシート」のコメントをもう一度読んでください。そのあとで、本当はこんなコメントが出てきたらいいな、と思うことをワークシートに書きます。興味の特徴と行動の特徴のところはこうならいいなと思う折れ線グラフを自由に書き込んでください。本物の「アドバイスシート」のコメントが本当に自分らしいと感じたときには、そこに大きめの字で「OK」と書き込んでおきます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートの結果と自分のイメージとを比較する作業なので、スタートのコメントをベースにした客観的な評価と主観的な自己イメージとを対応させることがポイントとなる。項目ごとにアドバイスシートを読んで、その都度、ワークシート（自分らしいスタートの結果）に記入させるとよい。 ○巡回し、困惑する生徒にはいっしょに考えるといった雰囲気コメントを与えてもよい。 ◆スタートの結果を読み取り、自分の理想像と比較し、理想像を具体的に表現できたか。

時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
	<p>●「アドバイスシート」の評価と自分自身への期待とを比較して、達成できそうな高校生活での現実的な目標を認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうある自分とこうありたい自分とを具体的に比較したとき、各項目の中で、どこに焦点を合わせるべきなのかを判断できるようになる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>次の作業に入ります。すべての項目でこうありたいという理想ばかりになってしまうと、何から手をつけてよいのかわからなくなってしまいます。そこで、今度はいろいろな項目の中で、①最も重要な項目、②その次に重要な項目、③とりあえず検討しておくべき項目を選びましょう。①最も重要な項目には◎、②その次に重要な項目には○、③とりあえず検討しておくべき項目には△をつけることにします。そして、もしこの3つのポイントが達成できたとしたら、今のあなたはどんなふうに成長するのかを想像してみてください。なるべく無理のない目標を立ててください。</p> </div> <p>●多様な側面からの評価を全体像としてまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それでは、ワークシートの下欄の◎、○、△にまとめたポイントを使って、自分の高校生活の課題をグループの中で発表し合ひましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・文章化できなくても、箇条書きや項目立てができればよい。 	<p>○改善のポイントを適切に考えることは難しいことである。ここではそういったポイントに注目させることが目的なので、やや的外れなものでもいいだろう。</p> <p>◆自分自身で検討した結果として改善点を考えられる。</p> <p>○グループ内でコミュニケーションをしていく課題なので、ざわつきを許容する必要がある。</p> <p>◆グループ内で問題点を共有しながら自己評価を形成できる。</p>
まとめ	<p>10分</p> <p>●スタートによる客観的な評価と漠然としていた自己評価を比較して、新たな高校生活への現実的な展望を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生活を始めるにあたって、目的意識を自覚する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日はクラスメイトといっしょに高校生活を始めるにあたって、考える必要のあることがどんなことなのかを考えてきました。大きな夢をもてるといいですね。夢を実現するためにはどんなことをしなければならぬのかがなんとなくわかってきたらと思います。「進路のためのアドバイスシート」は客観的な評価ですから、自分が思っていたよりも厳しい結果かもしれません。でも、みんなを否定するためのものではありません。私たちは日々成長していくので、どんどん変わっていきます。結果をもとにつくったワークシートは、みなさんの高校生活の基本的な設計図です。ワークシートに描かれた基本方針に沿って過ごしてみてください。</p> </div>	

自分らしいスタートの結果

年 組 番 氏名 _____

自分の進路について	A. 自分の希望は	C. 自分の興味の特徴 低い ふう 高い 1 2 3 4 5 文系 芸 術 ↑ 創 造 福 社 ↓ 交 流 国 際 経 済 情 報 環 境 技 術 理系 科 学
	B. 自分へのアドバイス	
	よいところ	
	心がけたいところ	
自分の生活について	A. 自分へのアドバイス	B. 自分の行動の特徴 低い ふう 高い 1 2 3 4 5 問題を解決する力 役割を果たす力 人と協力する力 他者を理解する力 状況を判断する力 相互に助け合う力
	よいところ	
	心がけたいところ	

～ 3つのポイントが改善できたときのあなたの生き方のイメージ ～

◎が改善できたら……
○が改善できたら……
△が改善できたら……